

(3) 工業用水

徳島県の工業用水は、吉野川河口部に集中し、旧吉野川・今切川から取水しています。

企業の進出は次のとおりです。

- 昭和 1 0 年 東邦レーヨン（当時は東邦人造繊維）
- 昭和 3 2 年 東亜合成（株）
- 昭和 3 3 年 日清紡績（株）徳島工場
- 昭和 3 7 年 四国化成工業（株）化学系工場等

昭和 3 9 年には、吉野川河口周辺地域が徳島地区新産業都市に指定され、吉野川下流地区の基盤整備（工業団地造成）が行われ、既存企業の工業用水の不足を補うため徳島県企業局が工業用水道事業を行うことになりました。

企業進出当初の工業用水の取水は、河川自流の不安定な流況に期待するものでしたが、吉野川総合開発の中核となる早明浦ダムが昭和 5 0 年に完成したことにより、安定水利として確保されるようになりました。

現在工業用水道は、早明浦ダムからの用水を大塚製薬（株）外 2 4 企業に供給しています。

許可水利の現状（工業用水）

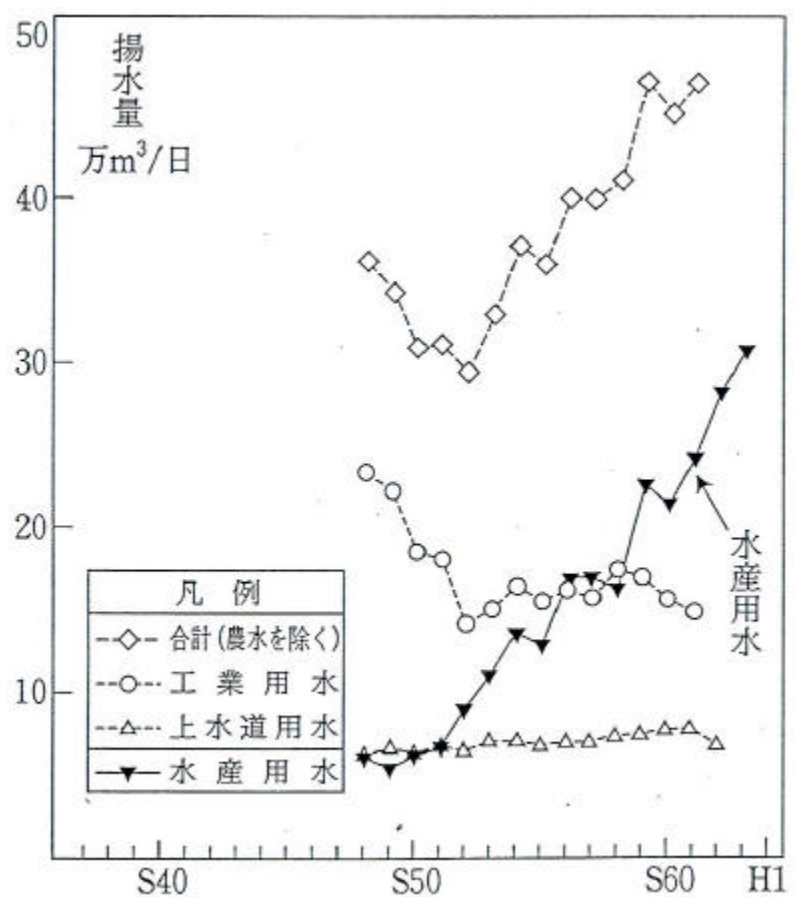
| 名 称 | 区 分 (許可・慣行) | 位 置 | | | 期 間 | 最大取水量 | 処 分 |
|------------|----------------|-----|----------|----|-----|--------|------|
| | | 左 | - | 右 | | | |
| 香川用水 | 許可 | 左 | - | 本川 | 通年 | 0.6300 | 統管 |
| 東邦レーヨン第一 | 許可 | 右 | 11/8+100 | 旧吉 | 通年 | 0.5566 | 徳島工事 |
| 東邦レーヨン第二 | 許可 | 右 | 11/5 | 今切 | 通年 | 0.1670 | 徳島工事 |
| 大麻工業用水道 | 許可 | 右 | 12/8+100 | 旧吉 | 通年 | 0.0300 | 徳島工事 |
| 日清紡績工業用水 | 許可 | 左 | 11/8+100 | 旧吉 | 通年 | 0.3470 | 徳島工事 |
| 吉野川北岸工業用水道 | 許可 | 左 | 14/0+40 | 旧吉 | 通年 | 2.0000 | 徳島工事 |
| 銅山川富郷工業用水道 | 許可 | - | 富郷ダム | 銅山 | 通年 | 1.4800 | 統管 |
| 銅山川柳瀬工業用水道 | 許可 | - | 柳瀬ダム | 銅山 | 通年 | 2.5500 | 統管 |

一方、地下水の取水は、昭和40年代の前半は急成長時代であり、その急激な発展のために取水規制はなく、安価でしかも質の良い地下水が需要に合わせて取水され、その代表が工業用水でした。

しかし、昭和48年のオイルショックを契機とした低成長時代を反映して、回収率の向上など、水の高度利用により、地下水の利用量も徐々に減少し、昭和50年以前は日量25万m³程度あったものが、最近では日量15万m³程度で推移しています。

昭和50年以降は、水産用水の地下水揚水が急増し、地下水全体の揚水量は増加の一途をたどり、地下水の塩水化や地盤沈下が発生し、社会問題にまで発展しています。

このような状況から、昭和58年に告示された「徳島県地下水の適正化に関する要綱」に基づき、揚水量の制限、構造等の変更の承認、回収使用の指導等が実施され、地下水の保全に向けた取り組みが行われています。



地下水揚水量の推移